

予防技術検定模擬テスト

— 解説付 —

NO. 73

【共通】問1 屋外における火災の予防又は消防活動の障害除去のための措置命令等に関する次の記述のうち、消防法令上誤っているものを1つ選べ。

- (1) 消防署長は、屋外において火災の予防に危険であると認める危険物の所有者に対して、当該物件の除去を命ずることができる。
- (2) 消防署長は、屋外における喫煙行為が火災の予防に危険であると認める場合、当該行為者に対して喫煙行為の禁止を命ずることができる。
- (3) 消防署長は、屋外におけるたき火が火災の予防に危険であると認める場合、当該行為者に対して消火準備を命ずることができる。
- (4) 消防署長は、火災の予防に危険であると認める物件の所有者等を確認することができず、これらの者に対し、必要な措置をとるべきことを命ずることができないときは、当該市町村の負担において当該消防職員に当該物件の除去等の措置をとらせることができる。

【消防用設備等】問1 消防法令において消防設備士が行うこととされている届出手続きに関する次の記述の空欄を埋める言葉のうち、誤っているものを1つ選べ。

(1) 消防設備士は、消防設備士でなければ行ってはならないとされる (2) をしようとするときは、その (2) に着手しようとする日の (3) 前までに、総務省令で定めるところにより、工事整備対象設備等の種類、工事の場所その他必要な事項を (4) に届け出なければならない。

- (1) 甲種
- (2) 工事
- (3) 一週間
- (4) 消防長又は消防署長

【消防用設備等】問2 全域放出方式のハロゲン化物消火設備の消火剤の放射時間に関する次の記述のうち、(ア)及び(イ)の空欄を埋める数字の組合せとして消防法令上正しいものを1つ選べ。

HFC-23、HFC-227ea又はFK-5-1-12を放射するものにあつては (ア) 秒以内に、ハロン2402、ハロン1211又はハロン1301を放射するものにあつては (イ) 秒以内に、それぞれ消火に必要な消火剤の量を放射できるものとする必要がある。

- (1) ア：10、イ：30
- (2) ア：30、イ：60
- (3) ア：30、イ：10
- (4) ア：60、イ：30

【防火査察】問1 消防法（以下「法」という。）の違反処理に関する記述のうち、不適当なものは次のうちどれか。

- (1) 法第17条第2項により委任されている条例基準違反に対して、法第17条の4第1項に基づく消防用設備等の設置維持命令を発動した。
- (2) 小規模雑居ビルの立入検査において、火気使用場所の存する防火戸が撤去され、かつ、当該階より上階で複数の無窓階の防火戸が撤去されているのを確認し、火災が発生した場合における人命の危険を除去することができないと認めたので、法第5条の2第1項第2号により当該火気使用場所の使用を停止する命令を発動した。
- (3) 劇場の立入検査において、堅穴区画に設けられた防火戸、防火シャッターにくさび等して、閉鎖できなくしていることを確認し、避難又は防火上必要な構造及び設備の管理が不適正であると認めたので、法第8条第4項により、防火管理を適正に行うよう警告を発動した。
- (4) 百貨店の立入検査において、自動火災報知設備の受信機が作動しないことを確認し、消防用設備等の維持管理が不適正であると認めたので、法第5条第1項により、当該自動火災報知設備の受信機を改修する命令を発動した。

【防火査察】問2 消防法（以下「法」という。）の違反処理等に関する記述のうち、不適当なものは次のうちどれか。

- (1) 法第17条の4第1項により避難器具の設置命令を発動したが、関係者に配慮して法第17条の4第3項の公示は実施しないこととした。
- (2) 法第5条第2項中の「確知」とは、名あて人が現場に居合わせる場合等、氏名及び住所を知ることができる場合に限らず、その者を特定することのできる場合全般をいう。
- (3) 立入検査の実施に際し、過去の違反状況等を勘案し、階段部分への物件の存置が予想される場合は、関係者に事前の通告をせずに立入検査を実施する必要がある。
- (4) 法第8条の2の3第1項に基づく防火対象物点検の特例認定を受けている物品販売店舗の立入検査を実施した際、避難通路に物品が存置されている消防法令違反を現認したので、特例認定の取消しをするための聴聞の手続きを開始した。

【危険物】問1 予防規程に関する次の記述のうち、誤っているものはいくつあるか。

- a. 一定の製造所等については、予防規程を定め、市町村長等に届け出なければならない。
- b. 市町村長等は、火災の予防のため必要があるときは、予防規程の変更を命ずることができる。

問2 答 (4)

解説 逃げ遅れ者に関する情報、ガス漏れ又は有毒ガス等二次的災害の発生危険に関する情報は、断片的かつ不確定であっても、直ちに指揮本部に速報し、追跡調査する。

問3 答 (4)

解説 窒息作用及び膨張時の冷却効果によって消火する設備である。

消防司令問題

【組織管理】

問1 答 (5)

解説 (1) 警察の指揮は消防が行うため、誤り。
(2) 交換も態様の一つであるため、誤り。
(3) 救急業務も規定されているため、誤り。
(4) 認められていないため、誤り。
(5) 正しい。

【人事管理】

問1 答 (3)

解説 (1) 免職の権限も有しているため、誤り。
(2) 規則ではなく条例であるため、誤り。
(3) 正しい。
(4) 準立法的権限であるため、誤り。
(5) 準司法的権限であるため、誤り。

【消防財政】

問1 答 (5)

解説 (1) 出納事務は会計管理者が行うため、誤り。
(2) 歳入徴収者の説明であるため、誤り。
(3) 長が命ずるため、誤り。
(4) 収支命令者の説明であるため、誤り。
(5) 正しい。

【警防】

問1 答 (4)

解説 ボイルオーバーではなく、スロップオーバーの火災性状である。

問2 答 (3)

解説 煙の噴出している換気口等からの進入は、厳禁とする。

問3 答 (1)

解説 (1) 消防活動は、人命検索・救助を最優先とし、災害の拡大防止を主眼とする。

【救急】

問1 答 (2)

解説 間欠性跛行とは一定時間歩くと、下腿の筋肉が痛んだり疲労感が強まり歩行困難となるが、しばらく休むと歩けるようになる症状で、腰部脊柱管狭窄症による坐骨神経に沿った痛み、動脈硬化症による血流障害により発生する。

問2 答 (1)

解説 喉頭部の異物を除去しても、換気状態が改善しない場合、救急隊の手技によるほか、気管異物が考えられる。気道確保の再確認も必要だが、まずは胸骨圧迫を実施し循環の確保を図り、次の処置の準備を行う。また、いたずらに現状で時間をかけずに搬送することも重要である。

問3 答 (5)

解説 協議会は、メディカルコントロール協議会等の既存の協議組織を、協議会として位置付けることも可能である。平成21年10月27日付消防救第248号 医政発第1027第3号 消防庁次長、厚生労働省医政局長通知参照。

予防技術検定模擬テスト

【共通】

問1 答 (4)

解説 (1) 消防法第3条第1項第3号。
(2) 消防法第3条第1項第1号。
(3) 消防法第3条第1項第1号。
(4) 消防法第3条第2項。措置に要する費用については、当該市町村の負担ではなく、それらの者の負担において措置をとらせることとされている。

【消防用設備等】

問1 答 (3)

解説 消防法第17条の14。甲種消防設備士は、工事着手10日前までに消防長又は消防署長に工事整備対象設備等着工届出書を届け出ることとされている。

問2 答 (1)

解説 消防法施行規則第20条第1項第3号。HFC-23、HFC-227ea又はFK-5-1-12を放射するものにあつては10秒以内に、ハロン2402、ハロン1211又はハロン1301を放射するものにあつては30秒以内に、それぞれ消火に必要な消火剤の量を放射できるものとする必要がある。

【防火査察】

問1 答 (4)

解説 (1) 消防法第17条の4第1項及び違反処理マニュアルにより適当。